

第 57 回山形実業人野球大会
新型コロナウイルス対策マニュアル

2022 年 3 月 28 日
山形実業人野球大会事務局

1. 基本方針

大会主催者、大会関係者及びチーム関係者は試合、移動等にあたって、新型コロナウイルス感染防止対策の基本となるソーシャルディスタンスを確保すること、密閉、密集、密接を避けること、マスクを着用すること等を常に意識しながら行動する。

2. チーム関係者の感染予防策

(1) 試合当日の健康チェックの記入

起床直後の検温を行い、「健康チェック表」へ体調不良の有無と併せて記入する。

体温が 37.5℃以上あった、または健康チェック表の質問に「有」とチェックがあった者は球場への入場を禁止する。

健康チェック表はチームごとに取りまとめ、当日のテーブルスコアと併せて事務局へ提出する。

(2) マスクの着用

球場内は、マスクを着用する。

(3) 手指衛生の励行

球場の出入口およびベンチ内にアルコール消毒液を設置し、手指衛生を徹底する。

(消毒液は事務局で手配。)

(4) 出来るだけ人込みを避ける

① 3つの密(密閉空間、密集場所、密接場面)を避ける。

② やむを得ず人込みに入る場合は、正しくマスクを着用する。

③ 不要不急の外出、外食を控える。

④ できるだけ 2m、最低 1m の安全距離を確保する。

(5) 試合前

① チーム控室ではマスクを着用し、密集、密接を避けるように努める。

② 対戦チーム並びに大会関係者等との接触は避ける。

③ ウォーミングアップ時のマスク着用は必須としない。

(6)試合中

- ①ベンチ内では、選手同士の間隔の確保に努める。
- ②試合に出場している選手以外の控え選手及び監督・コーチ等のスタッフ(ベースコーチを除く)は、マスク着用とする。
- ③素手でのハイタッチや握手を控える。メガホンの使用等を禁止する。
- ④唾を吐く行為、手を舐める行為は禁止する。
- ⑤試合前やイニング間の円陣は、一定の間隔を保つ。
- ⑥選手交代で監督が球審に近づく場合は、できるだけ2m(最低1m)空ける。
- ⑦投手交代等でマウンドに集まる際には、できるだけ選手、監督(コーチ)との間隔をとり、可能な限り接触を避ける。
- ⑧チーム共用の道具については、こまめに消毒を行う。
- ⑨タオル、ペットボトル、コップ等の共有は避ける。

(7)試合終了後

試合終了後はベンチ内を清掃し、速やかに退出する。

3.「健康チェック表」の管理

- (1)大会事務局が責任をもって管理する。
- (2)保存期間は当該試合日から1ヶ月間とし、保存期間経過後速やかに廃棄処理する。

4.球場の感染予防策

(1)球場運営対応

①感染予防措置の強化

球場アナウンス、大会プログラム等を通じて身体的距離の確保、マスク着用、手洗いの励行(手指消毒)、咳エチケット遵守を含む一般的な感染予防措置を案内する。

②球場内は、常時マスク着用とする。

③各所の消毒と衛生

- ・球場内各所にアルコール消毒液を配備し、消毒や手洗いを徹底する。
(球場入口、大会本部席、審判控室、記者席、放送席、球場内トイレ、ベンチ)
- ・本部席、審判控室、記録室、放送室等は、使用する者が定期的に換気する。

④球場内で体調不良者が発生した場合

- ・原則、帰宅を促す。

⑤密集、密接を避ける

- ・観戦や球場内の移動の際は、人との距離を十分確保するよう呼びかける。

(2)大会関係者の対応

- ①閉会式、表彰式等は規模を縮小して密集、密接を避ける。
- ②大会本部の座席の間隔を一定の距離に保つ。

(3)観客への対応

【観客への呼びかけ】

- ①マスクの着用。
- ②咳エチケットの遵守。
- ③感染防止のため、球場内で可能な限り目的地(自分の座席、トイレ等)を決めて移動することとし、不必要なコンコースの回遊などはご遠慮いただく。
- ④観戦中や球場内の移動の際は、人との距離を十分確保する。
- ⑤体調管理に十分配慮し、異変があった場合には無理せずご帰宅いただく。
- ⑥大会主催者の案内する応援スタイルにご理解の上、遵守いただく。
- ⑦試合終了後、密にならないよう速やかな退場協力を呼びかける。

(4)試合について

- ①試合開始及び終了時は、ホームベースをはさんで2m以上の間隔をあけて両チーム向き合って整列し、挨拶を行うこととする。なお、相手チームとの握手等は行わない。
- ②ベンチ内では選手同士の間隔の確保に努める。
- ③審判員の試合中に関する事項
 - ・球審 マスクの着用、またはマスクシールドを装着する。
 - ・塁審 マスクを着用する。
 - ・控え審判 マスクを着用する。※夏場は、熱中症に十分注意する。

5. 発症者及び感染者(濃厚接触者含む)発生について

- ・大会期間中に、選手や大会関係者に感染者が出た場合、主催者は必要に応じて大会の中止または打ち切り、規模縮小等を判断する。
- ・発症の疑い(体調不良)や濃厚接触者が発生した場合、当該者の出場・参加を認めない。